

児童朝会 校長の話 11月28日

先週の音楽会はどの学年の皆さんも、スクールバンドの皆さんも頑張って、素晴らしい音楽会になりましたね。2学期、運動会、音楽会とみんなで力を合わせて大きな行事をやり遂げました。そして今週は12月に入り、2学期ももうわずかですね。

皆さんは毎日たくさんの友達と一緒に生活していますが、みんな気持ちよく楽しく生活していますか。振り返ってみましょう。11月5日の土曜授業公開の日、3時間目に皆さんは授業をしていましたが、来ている保護者の方たちと授業をしていない先生たちで、佐藤香代さんという方のお話を聞きました。佐藤先生は学校で起きたいじめの問題を解決するためにお仕事をしている弁護士の先生です。今日は、佐藤先生から聞いたお話と私の考えていることとを合わせて皆さんにお話しします。

いじめや嫌がらせはなぜしてはいけないのでしょうか。人が人として生きていくために、必ず守られなくてはいけないことがあります。どんな人であっても全ての子供、全ての大人にとって守られなくてはならないことです。大きく3つあります。

**人が人として
生きていくために
守られなくては
ならないもの**

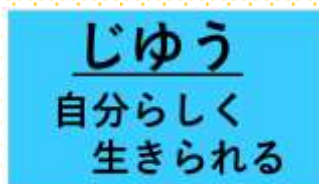
あんしん
不安の中では
生きられない

一つは「安心」です。悪口を言われるかも知れない。いじめられるかも知れない。暴力を振るわれるかも知れない。このような不安のある中では、人は生きられません。「安心」は守られなくてはなりません。

次は「自信」です。自分はみんなに受け入れられている。仲間だと思われている。大切にされている。そう感じられて初めて自信をもって生きることができます。私はこの私のまま自信をもって生

じしん
受け入れられて
いると感じる

きていいんだと思えることです。



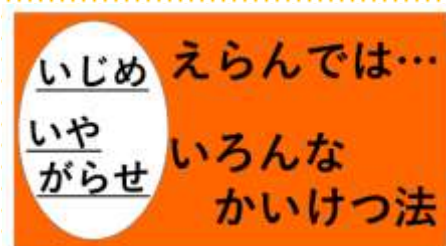
そして「自由」です。自分の意志で決められる自由です。本当はこうしたいけど何かされるかも知れないから止めておこう。こう言ったら仲間は外れになるかも知れないから言うのを止

めよう。これでは自分らしく生きることができません。「安心」「自信」「自由」は全ての人にとって守られなくてはならないことです。いじめや嫌がらせは人から「安心」「自信」「自由」を奪います。人が人として生きていくことを踏みにじります。

けれども、なかなかいじめや嫌がらせはなくなりません。それはどうしてでしょう。一つは、やっている人が気付いていないからです。相手が傷ついている。悲しい思いをしている。と気付いていないことが多いのです。

★やっていることに
気付いていない
★やられても
仕方ない思ってる

ですから、相手の立場に立って、自分のしていることを考えることが大切です。あるいは、気付いた人がやっている人に教えてあげることが必要です。それから、やっている人のうちその70%の人が、やられている人はやられても仕方が無いと思っています。70%というのは半分以上かなり多くの人のことです。やられている人のここがよくない。これがあるからやられるのだ。前にこんなことをしたからやられても仕方ない。けれども、よくないことがあるから、前にこんなことをしたからといって、いじめや嫌がらせを選んだということが



間違っています。いじめや嫌がらせは解決の方法にはなりません。もっと他にいろいろな解決方法があるはずです。それを考えなくてははいけません。

いじめや嫌がらせではないよい方法を見つけて、みんなが気持ちよく、楽しく生活でき

るようになっていくことが大切です。

2学期の残りの毎日、自分の生活を振り返りながら楽しい学校生活をみんなで作り、しっかり2学期を締めくくっていきましょう。